



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和 7(2025)年 第 31 週 (7/28 ~ 8/3)

三宅島 感染性胃腸炎 : 2件

新型コロナウイルス感染症(COVID-19): 1件

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 < 東京都感染症週報 第30週 >

・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、3.44で前週(2.72)より増加傾向です。

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) < 第31週 (7/28 ~ 8/3) >

・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.27で前週(0.27)から横ばいです。

・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、4.64で前週(2.36)より増加しています。

NEWS 肝炎ウイルス Q&A

Q: 肝炎ってどんな病気?



A: 肝臓の細胞に炎症が起こり、肝細胞が壊される病気です。
その原因として、ウイルス・アルコール・自己免疫等があります。日本では、B型とC型肝炎ウイルス感染による肝炎が多くを占めています。

Q: なぜ肝炎ウイルス検査が必要なのですか?

A: 多くのキャリア(ウイルス保有者)が存在しているから
日本の肝炎ウイルスのキャリアはB型が約110万人、C型が約90万人いると推定されています。検査で早期に発見し適切な治療を行うことで治療もしくは肝硬変への悪化を予防できます。

Q: ウイルス性肝炎でも症状が出なければ問題ないでしょ?



A: いいえ。だめです。
感染時期がよくわからなかったり、自覚症状がないことが多いため、本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行してから発見されることが問題になっています。

Q: ピアスや入れ墨も感染の原因?



A: 考えられる場合もあります。
B型・C型肝炎ウイルスは主に血液や体液を介して感染します。同じ針を使用したり、不衛生な環境で行った場合は感染する可能性があります。肝炎ウイルス検査の受診が強く推奨されます。



→
今後のキャリア数の推移についての研究では、C型肝炎ウイルス性肝炎のキャリア数は治療薬の開発と普及で大幅に減少する。
B型は排除が難しく緩やかに減少する、と予想されているよ。

参考: 知って肝炎 肝炎とは? (厚生労働省)、肝炎ウイルス持続感染者数の更新について(広島大学)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



知って肝炎 肝炎とは?
(厚生労働省)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 31 週

令和7年

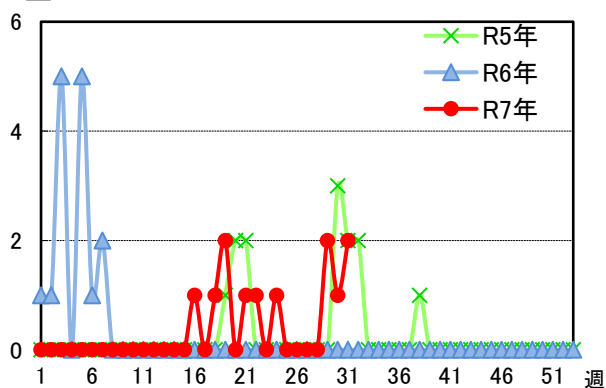
7/28 ~ 8/3

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 30 週
	26 週	27 週	28 週	29 週	30 週	31 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.52
咽頭結膜熱							0 (0)	0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	1.72
感染性胃腸炎				2 (0)	1 (1)	2 (0)	12 (3)	4.88
水 痘							0 (0)	0.61
手 足 口 病							0 (0)	0.61
伝染性紅斑							0 (0)	0.35
突発性発しん							0 (0)	0.39
ヘルパンギーナ							0 (0)	1.42
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.07
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.02
不明発しん症							0 (0)	0.13
インフルエンザ							58 (3)	0.44
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	1 (0)	10 (5)	2 (2)	7 (6)		1 (0)	50 (18)	3.44

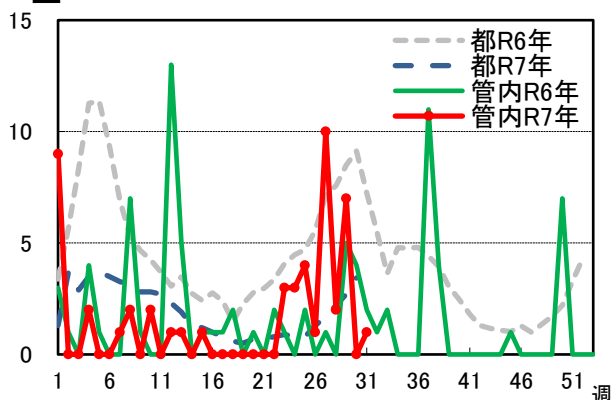
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ 管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ 感染性胃腸炎



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内は、感染性胃腸炎と新型コロナウイルス感染症の報告があります。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。